

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会  
第1回 関係者ワークショップ

# 1. まちづくりビジョンの具体化に向けて

- 平成25年度までに中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(以下、まちづくりビジョン)がとりまとめられ、今年度からまちづくりビジョンの具体化に取り組んでいます。
- まちづくりビジョンの具体化は、地域住民にとって身近なもの、行政が真摯に取り組まなければならないもの、地域住民自らが取り組むものなどをまとめることです。
- とりまとめられた取組や方策を、行政と市民が協働で実行することで、まちづくりビジョンの達成となります。

## 北杜市まちづくりビジョンの具体化(平成26年度以降)

### 『道路プラン』

- ・地域住民にとって身近な事象となるもの



- ・中部横断自動車道への整備にあたっての配慮事項のとりまとめ

### 『市民の取組プラン』

- ・地域住民自らが取り組むこととなるもの



- ・中部横断自動車道を活用するための市民の取組のとりまとめ

### < 参 考 >

北杜市まちづくりビジョン(以下、「まちづくりビジョン」)は、既定計画である「北杜市まちづくり計画」を踏まえ、中部横断自動車道の整備を見据え、沿線地域の将来像を明らかにし、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組や方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するための指針となるものです。

黒文字:平成25年度までにとりまとめられた「北杜市まちづくりビジョン」 青文字:平成26年度以降に取り組む事項

## 2. ワークショップの目的

「北杜市まちづくりビジョン」の具体的な方策や取組となる『道路プラン』は、地域住民にとって身近な事象であるとともに、行政が真摯に取り組まなければならないことであり、『市民の取組プラン』は、地域住民自らが主体となって取り組むものであることから、これらに対して積極的な姿勢をもつ地域住民の参画が可能となるワークショップ形式で実施する。

### <ワークショップ実施にあたってのポイント>

- 『道路プラン』や『市民の取組プラン』の検討には、地域資源の状況、道路構造に対する知識などの専門知識が一定程度必要である。
- とりまとめられたプランを市民及び行政が実行することで、まちづくりビジョンの実現に繋がることから、参加者には実行力及び取組に対する積極性が必要である。
- とりまとめられたビジョンは一部地域のものではなく、市民全体のものとなることから、幅広に一般的な意見が必要である。
- 委員会形式やパブコメ形式での意見形成より、実現性のある成果に繋がる。

### 3. 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会・ワークショップの関係

#### 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

- ・ワークショップの手法について審議
- ・ワークショップから提案された道路プラン、市民の取組プラン等の意見(結論)について審議・確認・補足する。
- ・結果を北杜市長に報告する。

#### ○主な審議事項

- ・ワークショップの進め方(枠組み)
- ・ワークショップの回数
- ・ワークショップのテーマ
- ・ワークショップでの検討結果の審議 等

検討方針  
提示

検討結果  
報告

#### 広報活動

(広報誌、回覧、ハガキ、HP等)

#### ワークショップ

専門性・実効性

#### 関係者ワークショップ (公募)

- ・産業、観光などの専門知識を持った方がアイデアを出す。
- ・今後の市の産業・活動を担う世代が、責任を持って考えを述べる。

一般性

#### 市民ワークショップ (無作為抽出)

- ・関係者ワークショップで出された様々な意見や対応案などについて一般的な立場としての市民が議論し、考えを述べ、補足や追加意見を述べる。
- ・ワークショップとしての意見をよりよくするために実施

情報発信

意見提出

地域住民

※:関係者ワークショップ、市民ワークショップに優劣はない。

## 4. ワークショップの概要（関係者ワークショップ）

### ①関係者ワークショップ（公募メンバー）

#### ◆参加者

公募により、ワークショップの主旨に合意する、市民をはじめとする市に関わりのある方。

#### ◆参加人数

全体で30名程度

#### ◆進め方

主催者の説明を受け、6人～8人程度のグループに分かれ、ファシリテーターの進行でテーマについて議論し、議論した結果をまとめて発表し、まとめてゆく。

※平日夜の2時間半～3時間程度

## 5. ワークショップの概要（市民ワークショップ）

### ②市民ワークショップ（無作為抽出メンバー）

#### ◆参加者（無作為抽出市民）

北杜市民の住民基本台帳等から15歳以上の方を無作為抽出し、参加に同意していただける方に市民ワークショップに参加していただく。

なお、高校生枠を設け、一定程度の若い世代の参画を募る。

#### ◆参加人数

全体で50名程度

#### ◆進め方

・5～6名のグループ毎に議論し、テーマが変わるごと(1、2時間毎)にメンバーを入れ替える。(意見の常識化、視野の広がり) ※開催は平成27年2月頃の休日の7～8時間程度

・参加者には、昼食・飲み物を提供。

## 6. ワークショップの議題イメージ

### ワークショップで説明・議論する内容

#### 第一段階 条件整理～道路プラン

##### 基本 事項

##### ●検討の基本事項説明

中部横断自動車道とは 中部横断道活用検討委員会（まちづくりビジョン・みちづくりプランとは）

##### 地域 状況

##### ●北杜市まちづくりビジョン と その背景

##### ●地域の産業・生活

観光、農業、商業、救急医療、防災 他

##### ●地域の資源

文化財、神社仏閣 自然環境 景観（北杜24景、里山景観） 他

##### 道路 プラン

##### ●ルート・構造検討への与条件

ルート計画の配慮事項（避けるもの、重要度）

##### ●インターチェンジのあり方

インターチェンジ位置の配慮事項

##### ●道路構造のあり方など

道路構造（盛切土・橋梁・トンネルなど）、道路施設についての配慮事項

#### 第二段階 周辺計画と市民活動～市民の取組プラン

##### 市民の 取組プラン

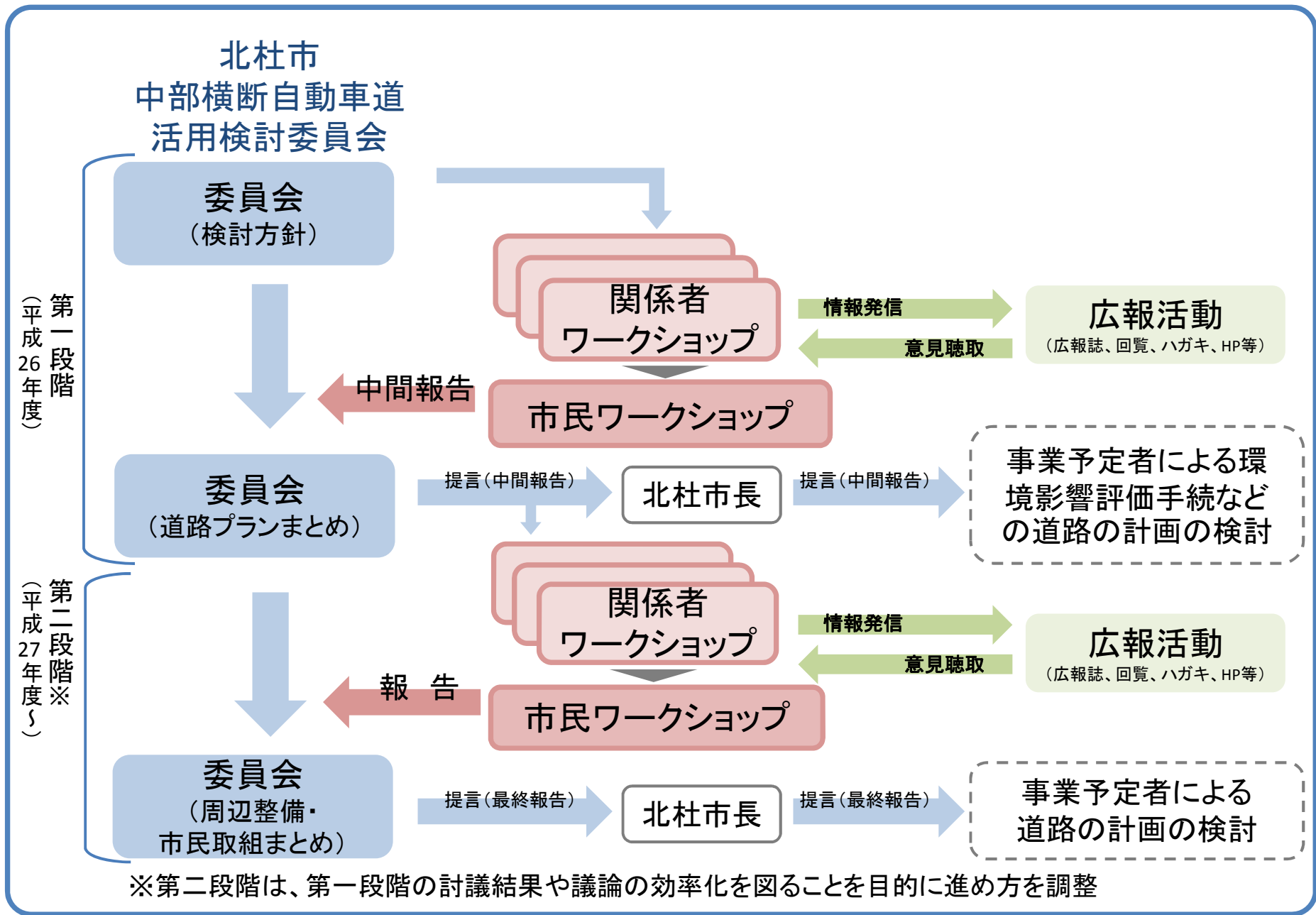
##### ●道路の周辺施設の在り方

・道の駅、産業施設や観光施設の効果的な活用方法 ・アクセス道路や他の公共交通との連携

##### ●道路を活かす市民の取組

・地域活性化に向けて、市民・関連団体が取り組むべきこと（農業・観光等）

# 7. 委員会とワークショップの手順





## 8. 関係者ワークショップ開催日とテーマ（予定）

回数	開催日	開催時間	主なテーマ
第1回	平成26年11月21日(金)	19:00～22:00	インターチェンジ への配慮事項
第2回	平成26年12月1日(月)	19:00～21:30	ルート帯周辺の 地域資源について
第3回	平成27年1月16日(金)	19:00～21:30	地域資源を踏まえた ルートへの配慮事項
第4回	平成27年2月6日(金)	19:00～21:30	中央道事例を踏まえた 道路構造への配慮事項

※上記日程等での開催と致しますが、急な変更等が生じた場合は、参加者宛にご連絡差し上げます。